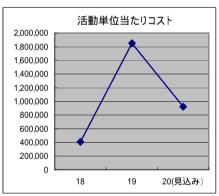
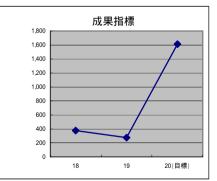
## 平成 20 年度 事務事業評価シート(平成 19 年度実施事業)

整理番号 保高29

事務事業名		介護保険等推進協議会事業				1 一般会計							
•	尹衍尹未行	川部	5休 <b>伙守</b> 推進励磁云争 <del>来</del>	予	款	3 民生費							
総合	まちづくり	2	健康で生き生きと暮らせるやさしいまち	算 科	項	1 <mark>社会福祉費</mark>							
総合基	の目標(章)	<u>(i)</u>	性成で主さ上さと春らせるやさしいよう		目	14 高年施策企画費							
本計画	施策(節)	3	高齢者福祉		事業	1 介護保険等推進協議会							
圖	施策の方向			作成部署 保健福祉部保険健康室高年介護課									
関	連する計画等	第3	期高年者いきいき計画	連	絡先	072 958 1111 内線 1390							
事	対象(誰を・	何る	何を)										
事業の目	市民												
目	意図(どうい	り	犬態にしたいのか)										
的			个護保険事業の運営										
事			営における、地方自治法第138条の4第3項に規 - 377	定	する市・	長の附属機関である介護保険等推進協議							
業 の	会の設置運営	<b>等</b>	事業。										
内内													
内容													
7	根拠法令等	介護	護保険法、羽曳野市高年いきいき条例										
事	業開始時期		昭和 ☑ 平成 12 年 月開始 □ 明日	確に	はわか	らない 終了年度 平成 年度							
事業開始時から の状況変化 市民参画の拡充													
市望	民や議会の要	市民参加											
	実施手法	$\overline{\mathbf{v}}$	直営 一部委託 全部委託		補助金	・助成金							
	委託先		外郭団体委託 名称 民間委託	委	託内容								
		_	10/TE 1 40/TE		ᅇᄺᄨ								

				/\		18年度		19年度	Ŧ	20年度		
区				分		(実績)		(実績)		(見込み)		
事	業費	[1]			1	376	277		1,613			
人件費【2】 (千円)							840	5,280		9,480		
	마하	正規職員				0.10	人	0.60	人	1.10	人	
	職員数	再任用單	战員			0.00	人	0.00	人	0.00	人	
		嘱託職員	Į			0.00	人	0.10	人	0.10	人	
	双	臨時職員	Į			0.00	人	0.00	人	0.00	人	
	超;	過勤務(乽	参考)		(時間)	0.00	時間	0.00	時間	0.00	時間	
総	総事業費(【1】+【2】)【A】(千円)						1,216		5,557		11,093	
	財源内訳	国費			(千円)							
		府費			(千円)							
		市債			(千円)							
		その他	(手数料・使	用料等)	(千円)							
		一般財源	京		(千円)	1,	216	5,	557	11,	093	
活	活動指標(事業の活動実績)【B】 単位						18年度		19年度		20年度(目標)	
開催回数     回					3		3		12			
活重	活動単位当たりコスト(【A】/【B】 )						8 円	1,852,333	8 円	924,417	7 円	
市目	市民1人当たりコスト(【A】/人口)						) 円	46	円	93	3 円	





	<u> </u>	指標名	指標設定の考え方		平成18年度	平成199	平成20年度	
	事業目的	介護保険等推進協議会事業	各年度事業費の予算に対	目標	1,239	828	達成率(%)	1,613
万月十	との達ま	(式)	する実績額	実績	376	277	33.5%	
指標				目標			達成率(%)	
	指標)	(式)		実績				

市			市の関与が必要な理由										評価			
	の		1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明			
	関与		法令上	受益者	最低限	市民の	社会的	民間だ	民間だ	市の特			介護保険事業計画等にお			
	の		の義務	が不特 定多数	の生活 水準を	不安を 解消	経済的 弱者を	けでは 負担しき	けでは 供給不	色等を 市内タ		<b>/</b>	いて、市民の意見を反映 させる為に必要な事業で			
	必			~~	確保	751715	対象	れない	足	へ発信		有	ある。			
	必要性															
										****						
	視	点		分	析のため	のチェッ	ク点		はいい	ハえ 該当 なし		分析·	評価の説明			
			市民二一	ズが高い					<u> </u>				こついて、市長の付属機			
			市民二一	ズに比較し <sup>*</sup>	てサービス	の供給過剰	削となってい	ない	<b>V</b>		関として市民参加の協議会を設置し、意見 の反映を行うため本事業は必要である。					
			社会情勢の変化に対応している						<b>☑</b> [		の反映で行うためや事業は必要である。					
	妥当	当性	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない						<b>I</b>	$\Box  \Box $						
			国・府の事	業と重複し	ていない				<b>V</b>		,					
			事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい													
			緊急性が認められる													
			単位コスト	か適切であ	5る(経年、	他市比較な	ほど)		☑ [				部会とに区別し事務の			
			受益者負	担の割合は	t適当である	3			Image: section of the		間索化、	効率化を <b>以</b>	図っている。			
			人員を削減する余地がない													
分析	効率		事業費を削減する余地がない													
			簡略化できる方法や手段がない													
評価			市の他事業と重複していない													
1四			民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない													
			上位の施策(目的)が明確である										した事務事業のなかで市			
			上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である						<u> </u>			事業計画 なっている	等を図る上で必要不可欠 S			
			成果を向上させる余地がない								.G.F.K.C.		<b>5</b> 0			
			市民の視点にたってサービスが提供されている								4 114 - ===					
			事業の企画、立案に市民が参加している						<u> </u>				よる市民の参画を図ると は広く市民の意見を反映			
	協賃	か性	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている							ᆜᆜ			ックコメント等実施する			
			事業の実施について積極的に市民の意見を反映している							뭐뭐	状況である。					
			事業の実施に市民の参加、協力が得られている 成果指標の目標値は適正である							<u> </u>						
	☆ □	, l		の目標値はの実績値は						<u> </u>						
	连几	ŀ								╎片						
				は前年度よ	いコエロ(	v 1の				J U						
		総合	·評価													
		<b>▽</b>	拡大∵	充実 📗	] 現状維	持	方法改善	月日	営化·民	間委託	□ 縮小	\	隆止·休止 □ 完了			
	担当	評価	の理由													
3	坏	平成	t27年の	超高齢社	t会を展	望して、	持続可	能な社会	:保障制	度を確	立する必	要がある。				
ì	半	A.14		- / HU/□ → /	\		h <del>女                                   </del>	۱ (تا								
1				(取組方象												
				る市民意 、構成員			<b>I係機関</b>	からの意	見を求め	める方	策として、	、今後さら	らに組織の在り方や			